

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限（2024年11月29日設定）
運用方針	<p>①主としてわが国の株式に投資を行います。</p> <p>②株式への投資にあたっては、主として日経平均株価採用銘柄の中から予想配当利回りの上位30銘柄を選定し、流動性を勘案して銘柄毎の組入比率を決定します。</p> <p>③株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>④株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。</p>
主要運用対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第1計算期末は、収益の分配は行いません。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、配当収入（経費控除後）の水準を勘案します。</p>

運用報告書（全体版）

日経平均高配当利回り株ファンドⅡ



第3期（決算日：2026年3月5日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 金 騰 落	中 率			
(設定日)	円	円		%	%	%	百万円
2024年11月29日	10,000	—	—	—	—	—	200
1期(2025年3月5日)	10,507	—	—	5.1	96.9	—	4,910
2期(2025年9月5日)	11,607	—	210	12.5	97.8	—	12,572
3期(2026年3月5日)	13,812	—	210	20.8	97.1	—	19,833

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 信託約款の規定にしたがい、第1期までの収益分配は行っていません。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	式 率
		騰 落	率			
(期首)	円		%	%	%	%
2025年9月5日	11,607	—	—	97.8	—	—
9月末	11,357	△	2.2	95.1	—	—
10月末	11,439	△	1.4	97.1	—	—
11月末	12,307		6.0	96.7	—	—
12月末	12,685		9.3	96.3	—	—
2026年1月末	13,241		14.1	97.4	—	—
2月末	14,828		27.8	96.7	—	—
(期末)						
2026年3月5日	14,022		20.8	97.1	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

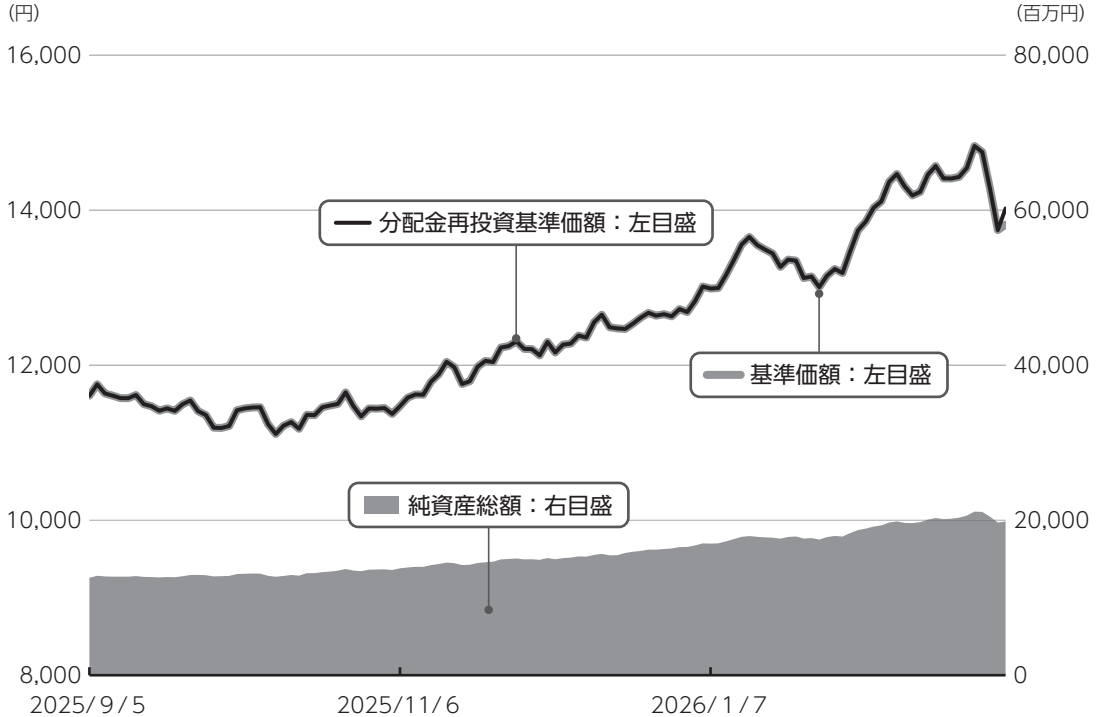
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第3期：2025年9月6日～2026年3月5日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第3期首	11,607円
第3期末	13,812円
既払分配金	210円
騰落率	20.8%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ20.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

日経平均株価が上昇するなか、保有する小売業、精密機器などに属する銘柄の株価下落がマイナスに作用した一方、医薬品、鉱業、保険業などに属する銘柄の株価上昇がプラスに寄与したことが、当ファンドの基準価額の上昇要因となりました。

第3期：2025年9月6日～2026年3月5日

投資環境について

国内株式市況

当期間の国内株式市場は、財政拡張的な政策への期待や国内政権基盤の安定などが好感され、上昇しました。

期間の初めから2025年末にかけては、相場の過熱感が意識される場面も見られましたが、石破首相の辞意表明による政権刷新や新政権による財政拡張的な政策期待の高まり、円安・米ドル高の進行などを背景に、国内株式市場は堅調となりました。この間、人工知能（AI）データセンターの拡大期待などを背景にハイテク銘柄への物色動向が強まったことも、国内株式市場の上昇要因となりました。

2026年に入ると、米国をめぐる地政学リスクの高まりや一時的な円高・米ドル安進行などが嫌気される場面もあったものの、突然の衆院解散・総選挙と自民党の歴史的な大勝による国内政権基盤の安定などが好感されたほか、次期日銀審議委員の人事案を巡り早期利上げ観測が後退したことなどを背景に、国内株式市場は上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

当期間も引き続き、所定の運用プロセスに基づき、日経平均採用銘柄の中から配当利回りの高い30銘柄を抽出し、個別銘柄ごとの流動性を勘案したポートフォリオを構築して運用しました。

前記の結果、2025年9月にリバランス（組入銘柄の入替えと組入比率の調整）を実施しました。

具体的には、第一生命ホールディングス、積水ハウス、ヤマハ発動機などを新規に買い付け、マツダ、AGC、いすゞ自動車などを買い増した一方、日本製鉄、SUBARU、商

船三井などを全株売却し、INDEX、日本たばこ産業、神戸製鋼所などを一部売却しました。銘柄入替前後での業種比較は、保険業、建設業、銀行業などの構成比率を引き上げ、鉄鋼、機械、海運業などの構成比率を引き下げました。なお、今回のリバランスでは投資判断により除外した銘柄はありません。

これ以降、期間末にかけて当該ポートフォリオを維持しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項目	第3期 2025年9月6日～2026年3月5日
当期分配金（対基準価額比率）	210（1.498%）
当期の収益	210
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,811

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

主として日経平均採用銘柄の中から予想配当利回りの高い30銘柄を選定し、流動性を勘案して銘柄毎の組入比率を決定します。保有銘

柄の信用リスクや配当水準の動向に留意し、引き続き所定の運用プロセスに基づき運用していく方針です。

2025年9月6日～2026年3月5日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	43	0.343	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(20)	(0.163)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(20)	(0.163)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	43	0.344	

期中の平均基準価額は、12,490円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

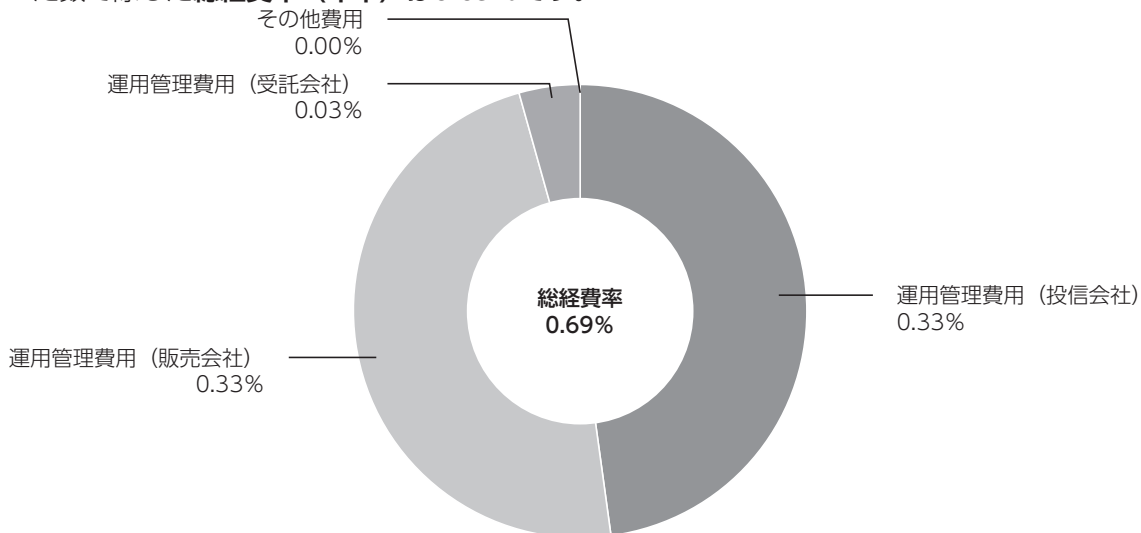
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.69%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年9月6日～2026年3月5日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		3,705 (94)	7,210,612 (-)	1,247	3,131,606

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2025年9月6日～2026年3月5日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	10,342,219千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,656,034千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.66

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年9月6日～2026年3月5日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 7,210	百万円 460	% 6.4	百万円 3,131	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2026年3月5日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
鉱業 (8.1%)				
INPEX	360.4	372.9	1,551	636
建設業 (4.1%)				
長谷工コーポレーション	43.9	—	—	—
積水ハウス	—	224.3	799	629
食料品 (6.0%)				
日本たばこ産業	178.3	204.1	1,159	288
繊維製品 (0.7%)				
帝人	—	77.2	127	727
パルプ・紙 (1.6%)				
王子ホールディングス	—	337.9	314	382
化学 (4.7%)				
東ソー	70.4	89.1	220	166
デンカ	29.4	38.2	130	262
三井化学	69.3	205.8	437	325
UBE	30.8	47.1	125	474
医薬品 (12.5%)				
武田薬品工業	153.4	210	1,182	510
アステラス製薬	416.5	516.9	1,232	548
ガラス・土石製品 (2.7%)				
AGC	52.2	84.5	522	379
鉄鋼 (6.1%)				
日本製鉄	203.6	—	—	—
神戸製鋼所	211.9	224.3	470	693
JFEホールディングス	256.7	353.6	705	962
非鉄金属 (2.1%)				
三菱マテリアル	—	76.8	404	736
機械 (2.0%)				
アマダ	86.8	—	—	—
日立建機	64.6	—	—	—

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
日本精工	136.8	174.2	217	837
NTN	269.3	—	—	—
ジェイテクト	72.5	89.8	169	542
輸送用機器 (15.2%)				
いすゞ自動車	152.2	235.5	620	778
マツダ	490.6	725.3	869	997
本田技研工業	478.1	576.4	825	116
SUBARU	204	—	—	—
ヤマハ発動機	—	536.6	614	407
精密機器 (—%)				
シチズン時計	61.9	—	—	—
海運業 (10.7%)				
日本郵船	129	176.1	970	487
商船三井	122.7	—	—	—
川崎汽船	309.3	417.1	1,088	213
卸売業 (3.2%)				
双日	80.1	95.8	607	946
小売業 (1.1%)				
丸井グループ	—	66.1	203	588
銀行業 (3.6%)				
あおぞら銀行	—	105.7	276	299
ふくおかフィナンシャルグループ	—	65.9	411	281
証券、商品先物取引業 (3.4%)				
大和証券グループ本社	326.9	430.1	651	171
保険業 (12.2%)				
MS&ADインシュアランスグループホール	210.1	278.5	1,151	597
第一生命ホールディングス	—	787.8	1,200	213
合 計	株数・金額	5,271	7,823	19,263,198
	銘柄数<比率>	29	30	<97.1%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2026年3月5日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 19,263,198	% 95.3
コール・ローン等、その他	959,040	4.7
投資信託財産総額	20,222,238	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年3月5日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	20,222,238,490
コール・ローン等	887,109,438
株式(評価額)	19,263,198,610
未収配当金	71,913,100
未収利息	17,342
(B) 負債	388,293,411
未払収益分配金	301,569,193
未払解約金	32,850,635
未払信託報酬	53,652,216
その他未払費用	221,367
(C) 純資産総額(A-B)	19,833,945,079
元本	14,360,437,790
次期繰越損益金	5,473,507,289
(D) 受益権総口数	14,360,437,790口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,812円

<注記事項>

- ①期首元本額 10,831,999,279円
 期中追加設定元本額 4,353,052,374円
 期中一部解約元本額 824,613,863円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.3812円です。

②分配金の計算過程

項 目	2025年9月6日～ 2026年3月5日
費用控除後の配当等収益額	262,804,392円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	2,786,112,128円
収益調整金額	1,464,513,999円
分配準備積立金額	1,261,645,963円
当ファンドの分配対象収益額	5,775,076,482円
1万口当たり収益分配対象額	4,021円
1万口当たり分配金額	210円
収益分配金金額	301,569,193円

○損益の状況 (2025年9月6日～2026年3月5日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	267,448,295
受取配当金	265,788,353
受取利息	1,659,855
その他収益金	87
(B) 有価証券売買損益	2,835,341,808
売買益	3,056,475,682
売買損	△ 221,133,874
(C) 信託報酬等	△ 53,873,583
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,048,916,520
(E) 前期繰越損益金	1,261,645,963
(F) 追加信託差損益金	1,464,513,999
(配当等相当額)	(970,509,898)
(売買損益相当額)	(494,004,101)
(G) 計(D+E+F)	5,775,076,482
(H) 収益分配金	△ 301,569,193
次期繰越損益金(G+H)	5,473,507,289
追加信託差損益金	1,464,513,999
(配当等相当額)	(970,509,898)
(売買損益相当額)	(494,004,101)
分配準備積立金	4,008,993,290

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	210円
----------------	------

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。